



都市農業の 環境を守るはたらき

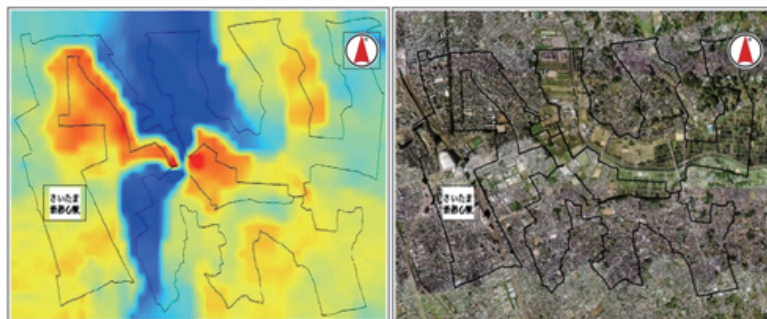
まちの環境を整えてくれます

コンクリートが多い都市はあたたまりやすく、夏にはとても暑くなりますが、都市農地の土や緑は、都市の気温を下げてくれます。また、農地の土は余分な栄養を吸収して、川や海の水の汚染を防ぎます。

田んぼのクールスポット

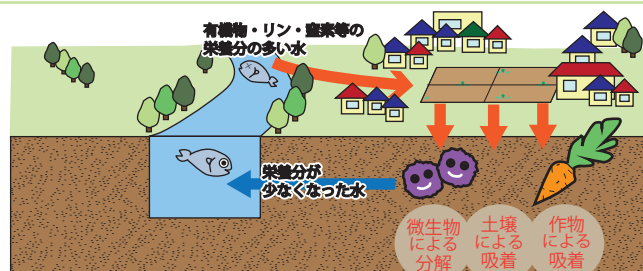
都市部ではヒートアイランド現象による気温上昇が問題になっていますが、都市農地が緑地や水面を提供することでヒートアイランド現象の緩和が期待されます。平成 20 年度に埼玉県環境部が、農地（水田）を含む地域を対象に、移動観測による詳細な熱環境調査を行った結果、さいたま新都心に近接する見沼田んぼ付近で、水田は市街地に比べ、 $0.52^{\circ}\text{C} \sim 1.32^{\circ}\text{C}$ 低く、周囲より気温の低いクールスポットが形成されていることが分かりました。

「埼玉県ヒートアイランド現象対策事業 (H20 年度) 調査報告書」より



土壌の水質浄化作用

土壌は窒素などの栄養分を吸収する性質があるため、川や海へ流れ込む前に農地などの土壌にしみ込んだ水は、そうでない場合に比べて赤潮などの発生の原因になりにくくなります。



多様な生き物を守ってくれます

都市農地は、貴重な緑地として鳥や昆虫などの生き物のすみかとなることで多様な生き物を守ります。